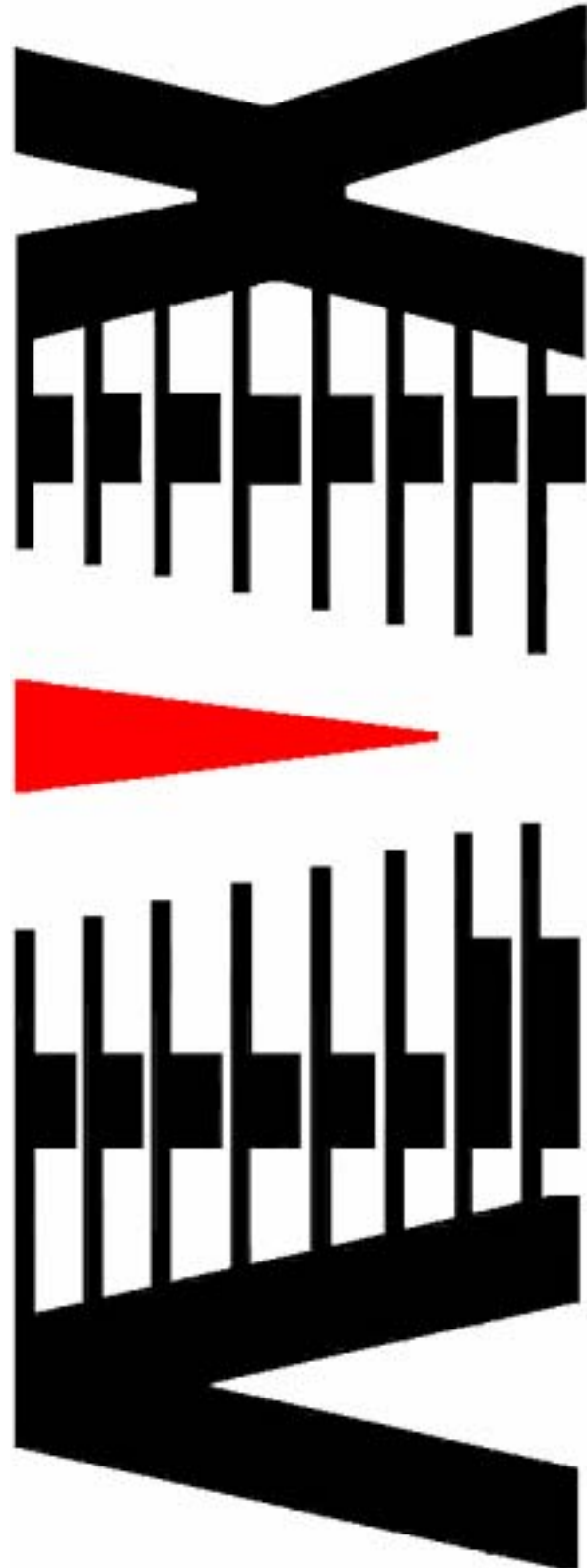




“アルピクス” 4面メモリ内蔵2chSDIキーヤー
<MSK-412>

取扱説明書

Ver.2.0



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、安全の為に指示に従って下さい。もし不明点が有れば、販売店か弊社におたずね下さい。

付属品

取扱説明書	・・・	1
ACコード(3メートル)	・・・	1
本体取付金具(EIAラック取付用)	・・・	1組
(ビスM4×6)	・・・	6個
保証書	・・・	1

目次

注意事項	・・・	2ページ
仕様	・・・	3ページ
概略回路図		
概要・特長	・・・	4ページ
各部の説明	・・・	6ページ
本体フロントパネルの説明	・・・	6ページ
本体リアパネルの説明	・・・	7ページ
コントロールパネルの説明	・・・	8ページ
機能	・・・	10ページ
制御	・・・	11ページ

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい(安全にお使いいただくために)

警告

内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
(火災や感電、故障の原因となります。)

煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて
販売店に御連絡下さい。

注意

電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
(感電やショート、火災の原因となります。)

電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
(電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。)

電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
(感電やショート、火災の原因となります。)

仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
(火災や感電の原因となります。)

お願い

風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
(故障の原因となります。)

次の様な所には置かないで下さい。
湿気が多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く、
埃の多い所、強い磁力のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、
激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所。
(故障の原因となります。)

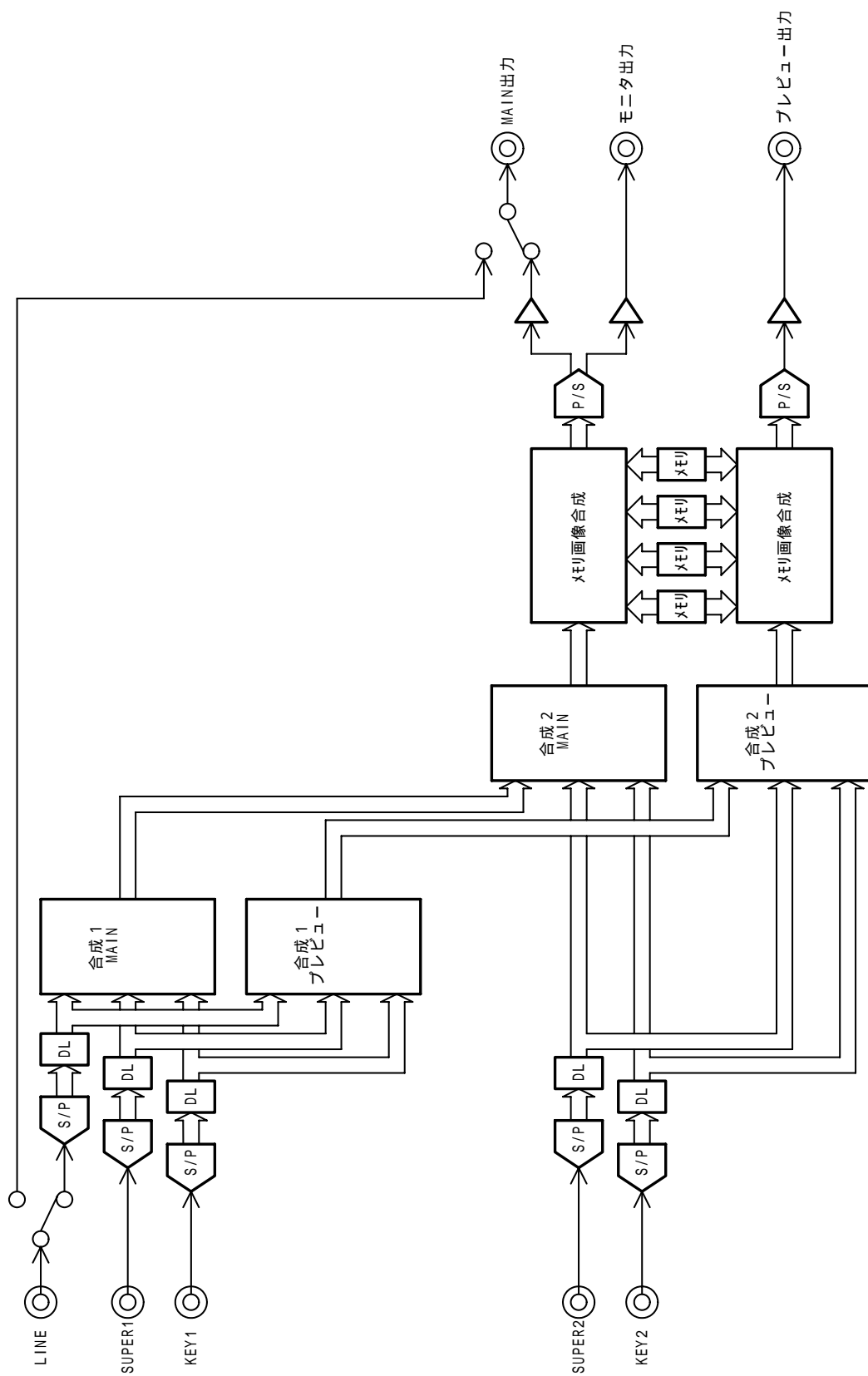
仕様 (モデル MSK - 412)

映像入力	信号形式	SDI (D1) 信号
	ライン信号入力 (LINE)	1 系統
	スーパー信号入力 (SUPER 1、2)	2 系統
	キー信号入力 (KEY 1、2)	2 系統
	入力接栓	BNC コネクタ
映像出力	信号形式	SDI (D1) 信号
	メイン出力	1 系統
	モニタ出力	1 系統
	プレビュー出力	1 系統
	出力接栓	BNC コネクタ
外形寸法		W 430 × H 88 × D 421
重量		約 10 kg
電源電圧		AC 85 ~ 132 V
消費電力		約 40 W
使用温度		5 ~ 40

ライン入力及び出力は SDI Embedded AUDIO に対応します。

仕様、外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

MSK - 4 1 2 概略回路図 (映像信号の流れ)



概要

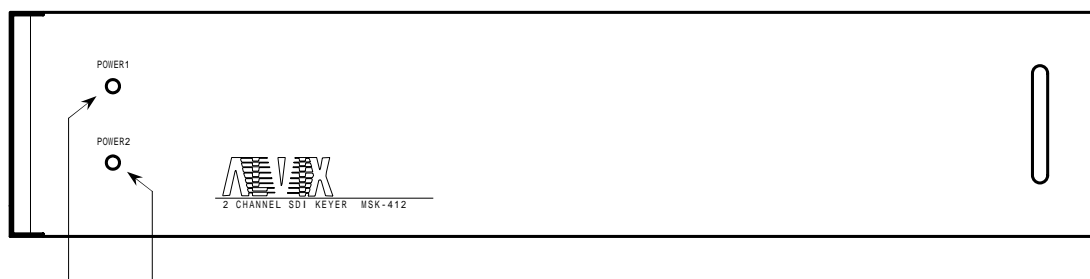
主信号 2ch の副信号と内蔵した 4 面メモリを同時または個別の他、いろいろな組み合わせでカラー合成することができる SDI (SMPTE 259M - C) 入出力キーヤーです。

特長

- 1 . 合成キーは副信号毎のキー入力から抽出します。キー入力が無い場合は副信号入力の輝度成分から作成されます (セルフキー)
- 2 . 副信号 2ch は合成キーに階調をもたせることができますので、スムーズな合成ができます。 (ゲイン、しきい値により設定)
- 3 . 副信号 2ch は合成 ON / OFF の切替 (切り替え開始から終了までの) 時間をフレーム数で設定できます。
副信号毎に 0、5、10、15、20、25、30、45、50、60、75、90 フレームの 12 段階設定可能です。 (設定 0 は切替時間制限なしとなります。)
- 4 . 合成キーの抽出はゲイン、しきい値ともに各 0 ~ 100 の範囲で調整が可能です。
- 5 . 合成キー抽出のゲイン、しきい値はコントローラにて調整値を 4 つメモリ登録・呼出することができます。
- 6 . 合成キー抽出のゲイン、しきい値はコントローラにて操作中の値をロックすることができます。
- 7 . 内蔵 4 面メモリの書き換えは RS - 422 A 通信経由で行ないます。付属の Windows 用ソフトウェアにてコントローラから容易に行なうことができます。
- 8 . プレビュー出力を持っています。
- 9 . キーヤー本体は電源ユニットを 2 重化 (並列運転)、動作状態で電源ユニットの交換が可能です。
- 10 . 電源 OFF 時は主信号入力が、リレー接点を介してループスルーされます。 (モニタ・プレビュー出力は OFF になります。)
- 11 . キーヤー本体とコントローラは RS - 422 A で接続されます。

各部の説明

【本体フロントパネルの説明】



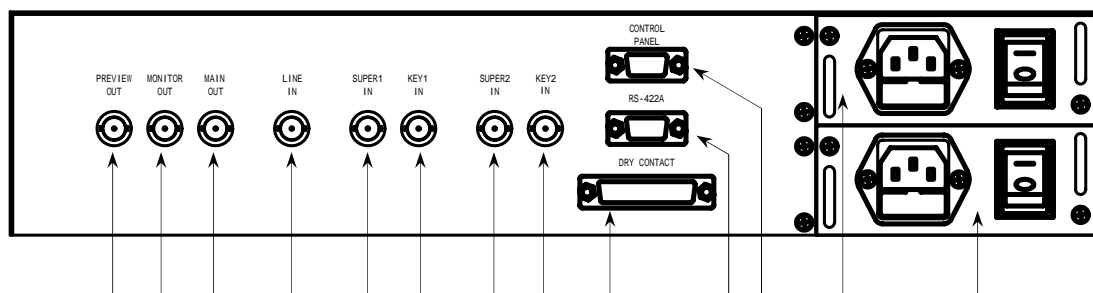
電源 1 L E D

電源ユニット 1 の動作状態を表します。

電源 2 L E D

電源ユニット 2 の動作状態を表します。

【本体リアパネルの説明】



プレビューアウトコネクタ

プレビュー用出力コネクタです。

モニターアウトコネクタ

メイン信号のモニター出力用コネクタです。

メインアウトコネクタ

メイン信号を出力します。

ラインインコネクタ

主信号を入力します。

スーパー 1 インコネクタ

1 c h 目のスーパー信号を入力します。

キー 1 インコネクタ

1 c h 目のキー信号を入力します。

スーパー 2 インコネクタ

2 c h 目のスーパー信号を入力します。

キー 2 インコネクタ

2 c h 目のキー信号を入力します。

接点入出力コネクタ

接点入出力コネクタです。(D-sub 25ピン female)

RS - 422 A コネクタ

内部メモリを書き換えるコネクタです。(D-sub 9ピン male)

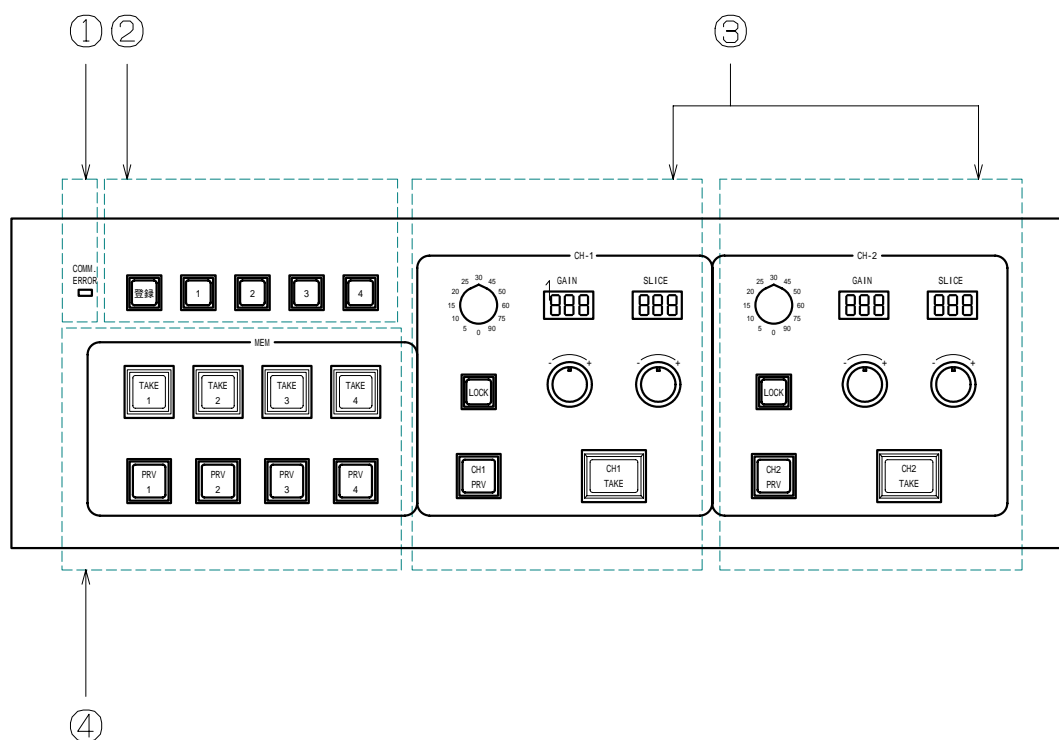
コントロールパネルコネクタ

本体を制御するコントローラを接続するコネクタです。(D-sub 9ピン male)

電源ユニット 1

電源ユニット 2

【コントロールパネルの説明】



コミュニケーションエラーLED

MSK-412本体とコントロールパネル間の通信にエラーが発生した場合、このLEDが点灯します。

設定メモリスイッチ

副信号1、2のGAIN、SLICE設定値をメモリしておくスイッチです。

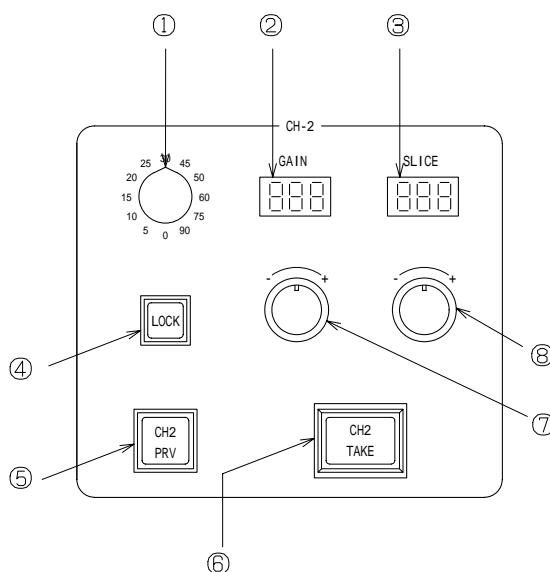
副信号設定・合成部

副信号1、2の合成スピード、GAIN、SLICE値設定とプレビュー、TAKE合成等を行います。

内蔵メモリ合成部

あらかじめ内蔵している4つのメモリを表示するスイッチです。上段がTAKEスイッチ、下段がプレビュースイッチ。

【副信号の調整方法】



各部の名称

合成スピード設定ロータリースイッチ

ライン信号と副信号の合成のスピードを設定します。値はフレーム数です。

ゲイン値

のロータリースイッチで設定した値を表示します。

スライス値

のロータリースイッチで設定した値を表示します。

キーロックスイッチ

キーロックをかけます。

ロックがONのとき、⑦、⑧のスイッチを回しても値の変化はありません。

プレビュースイッチ

現在設定した状態をプレビューアウトに出力します。

TAKEスイッチ

現在設定した状態をメインアウトに出力します。

ゲイン値調整ロータリースイッチ

ゲイン値を調整します。

スライス値調整ロータリースイッチ

スライス値を調整します。

機能

1. キー合成

ライン入力に入力した映像に、スーパー 1 及び 2 に入力した映像をキー合成します。

1) キーの抽出

合成キーは、キー入力に入力されるキー信号の輝度レベルから抽出されます。

抽出時に、ゲイン及びしきい値を 0 ~ 100 の間に設定することができ、キー合成の具合が調節可能です。ゲイン及びしきい値は、キー合成 1, 2 個別に設定できます。

また、キーに入力が無い場合は、スーパー信号の輝度レベルから合成キーを抽出します。(セルフキー)

2) ON/OFF 切替時間の設定

合成 ON/OFF の切替開始から終了までの時間を設定できます。設定は、0,5,10,15,20,25,30,45,50,60,75,90 フレームの 12 段階で、キー合成 1, 2 個別に設定できます。

3) プレビュー

メインと、プレビューは個別に合成 ON/OFF が設定できますので、本線 TAKE 前にプレビュー出力映像で合成の具合を確認できます。

2. 内部メモリ画像合成

本体内部のメモリに保存した 4 種類の静止画像を合成します。

4 種の本体内部メモリには、それぞれ 720 × 480 ドットのビットマップファイルが登録できます。

1) 内部メモリ画像の書き換え

メモリ画像は、コントローラから専用のソフトウェアを使用し RS-422 経由で書き換えます。コントローラから書き込まれた画像は、本体内のフラッシュメモリに保存されます。

2) プレビュー

メインと、プレビューは個別に合成 ON/OFF が設定できます。

1 ライン入力、スーパー入力 1, 2、キー入力 1, 2 はゲンロックしていることが必要です。

2 合成の優先順位は、
内部メモリ 1 > 内部メモリ 2 > 内部メモリ 3 > 内部メモリ 4 > キー合成 2 > キー合成 1
となります。

3 内部メモリ合成中は書き換えたメモリ画像が出力に反映されません。メイン及びプレビューの全てのメモリ画像合成を一度 OFF にする必要があります。

制御

1. 外部接点制御

1) 接点制御

キー合成 1, 2、内部メモリ合成 1, 2, 3, 4 を外部接点で制御することができます。各制御入力 Pin を GND に短絡することで、それぞれの合成が ON となります。また、接点入力の状態がタリー出力されます。

2) コントローラ制御と接点制御の関係

制御に関しては、コントローラからの TAKE が優先となります。このため、コントローラからの合成 ON を接点制御で OFF することはできません。逆に、リモートからの TAKE をコントロールパネルで OFF することができます。

合成 OFF 時は、接点制御でもコントローラからでも ON することができます。

3) エラー出力

電源アラーム、CPU アラームを外部接点コネクタから出力します。

4) 外部接点コネクタ仕様

D-sub25Pin female (勘合ネジ M2.6 × 0.45)

1	内部メモリ合成 1 接点入力	14	内部メモリ合成 1 列-出力
2	内部メモリ合成 2 接点入力	15	内部メモリ合成 2 列-出力
3	内部メモリ合成 3 接点入力	16	内部メモリ合成 3 列-出力
4	内部メモリ合成 4 接点入力	17	内部メモリ合成 4 列-出力
5	キー合成 1 接点入力	18	キー合成 1 列-出力
6	キー合成 2 接点入力	19	キー合成 2 列-出力
7		20	CPU アラーム出力
8	GND	21	
9	電源 1 アラーム 接点出力	22	電源 1 アラーム 接点出力
10	電源 2 アラーム 接点出力	23	電源 2 アラーム 接点出力
11		24	
12		25	
13			

タリー出力、CPU アラーム出力 : 最大 DC 12V 400mA

電源アラーム接点出力 : 最大 AC125V 0.5A / DC30V 1A

2 . 内部メモリ書き換え

1) 内部メモリ画像の書き換え

メモリ画像は、PC から専用のソフトウェアを使用し RS - 4 2 2 A 経由で書き換えます。
 PC から書き込まれた画像は、本体内のフラッシュメモリに保存されます。
 4 種の内部メモリ画像は、それぞれ 7 2 0 × 4 8 0 ドットのビットマップとして、登録されます。

【メモリ書き換えソフトウェア概略説明】



- [ファイル]メニュー : [開く]
 テロップデータファイルを開きます。
- [ファイル]メニュー : [フォーマットを開く]
 テロップフォーマットファイルを開きます。
- [ファイル]メニュー : [保存]
 テロップデータをファイルに保存します。
- [ファイル]メニュー : [フォーマットを保存]
 テロップデータの位置やフォントをファイルに保存します。
- [ファイル]メニュー : [終了]
 このユーティリティを終了します。
- [ポート]メニュー : 使用する RS-232C のポート番号を設定します。
- [ヘルプ]メニュー : Help を表示します。
- [Telop 設定]タブ : [図形設定]
 2 つのテロップ用ビットマップ図形ファイルを設定します。図形-1/2 ボタンをクリックしてファイルを選択します。
- [Telop 設定]タブ : [文字設定]
 4 つのテロップ用文字を入力します。1 テロップに 5 行まで入力できます。
 すべてを入力する必要はありません。また、とびとびに入力してもかまいません。
- [Memory]タブ : [MUX チャンネル指定]
 ボックスの右端のボタンを押して、表示されるチャンネル名をクリックします。
 名前は、
 [MUX 設定]タブ : [MUX チャンネル名]
 で設定します。
- [Memory]タブ : [透過率]
 0% , 25% , 50% , 75% の 4 つから選択します。
- [Memory]タブ : [書き込み]
 テロップをボタンに対応した MSK-412 のメモリに書き込みます。

[MUX 設定]タブ : [MUX の有無]

MUX が接続されているかどうかを指定します。
「なし」にすると、

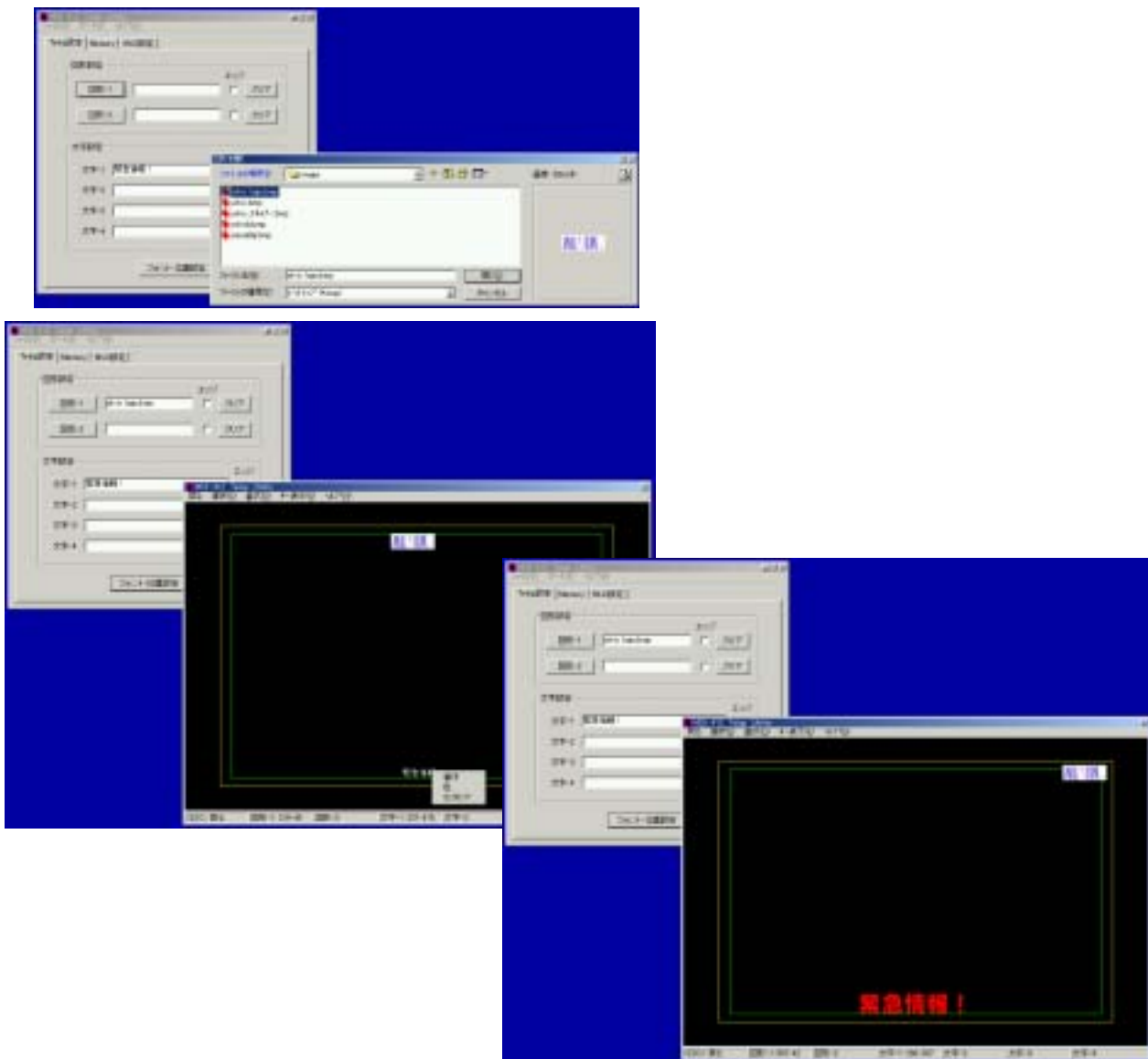
[Memory]タブ : [MUX チャンネル指定]

[MUX 設定]タブ : [MUX チャンネル名]

の 2 つが表示されません。

[MUX 設定]タブ : [MUX チャンネル名]

MUX の各チャンネルに名前を付けます。



図形指定、文字入力後に [フォント・位置設定] をクリックすると黒背景にプレビュー表示し、文字については書体・色・センタリング等の指定ができ、マウスで自由にドラッグし位置指定ができます。

プレビュー画面全体を黒背景で表示し、安全ラインとして 85% (黄) と 80% (緑) のラインを表示しています。

メモリーへの転送時間ですが、書込みメモリの容量 (黒の連続度合がどの程度あるか) により変化しますが、最小で約 30 秒くらい、最大で約 6 分くらいかかります。

2) RS - 422Aコネクタ仕様

D-sub 9 Pin male (勘合ネジ M2.6×0.45)

1	
2	TXD -
3	RXD +
4	SG (GND)
5	
6	SG (GND)
7	TXD +
8	RXD -
9	

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。

なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038